

薬師八味丸錠

本製品は、漢方の古典「金匱要略」記載の処方にもとづいてつくられたエキスを、さらに飲みやすく錠剤にしたものです。

漢方医学に腎気ということばがありますが、これは人間のからだの働きのもとになる“生まれながらの生命力”を意味し、からだのみずみずしさや活力の源になると考えられています。

この腎気が中年以降になると徐々に失われ（漢方医学では“腎虚”の状態）、いわゆる老化現象があらわれるようになります。

「薬師八味丸錠」は腎気を補う漢方薬として用いられ、尿の出が悪くなったり、軽い尿漏れ、夜中にトイレの回数が多い、足腰の痛み、耳鳴り、目のかすみ等の症状に効果があります。

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

- (1)胃腸の弱い人。
- (2)下痢しやすい人。

🗨️ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人。
- (4)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|------|-----------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、腹痛 |
| その他 | 動悸、のぼせ、口唇・舌のしびれ |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

＜効能・効果＞

体力中等度以下で、疲れやすく、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渇があるものの次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善（肩こり、頭重、耳鳴り）、軽い尿漏れ

＜用法・用量＞

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日服用回数 |
|-------------|---------|-----------------|
| 成人（15才以上） | 3 錠 | 3 回 (食前又は食間) |
| 15才未満 5 才以上 | 2 錠 | |
| 5 才未満 | 服用しないこと | |

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

＜成分・分量＞ 1日量（9錠）中

八味地黄丸エキス（1/2量）2200mg（ジオウ2.5g、サンシユウ・サンヤク・タクシャ・ブクリヨウ・ポタンビ各1.5g、ケイヒ・ブシ末各0.5gより抽出）

添加物として、CMC-Ca、二酸化ケイ素、クロスCMC-Na、タルク、ステアリン酸Mg、セルロース、ヒプロメロース、マクロゴール、カルナウバロウを含む。

＜保管及び取扱い上の注意＞

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのお問い合わせは、下記にお願い申し上げます。

株式会社 日本薬師堂

電話 0120-894-894（通話料無料フリーダイヤル）

ホームページ nihonyakushido.com

発売元 株式会社 日本薬師堂
東京都目黒区青葉台3-2-12

製造販売元 ダンヘルスケア株式会社
大阪市西区土佐堀1-4-11